



コスモス 2月号

第74卷 第2号

◆宮柊二「カレンダー」(83)二月の歌

水のべの木の芽の、ごとくすくすくと伸びよわ
が孫を柊二の男をの孫

歌集『恒河沙』

初出は「婦人の友」一九八七年一月号。「よろこび」五首中の一首。長男を出産後、産院から戻ると、夫の父宮柊二はベッド脇の車椅子に座つて待つて待つてくださった。義父は眠る赤子を抱き、「かわいい、かわいい」と二度つぶやかれた。義父にとつては三人目で初めての男の孫だった。「ふうちやん、豊子さんおめでとう。兄さん良かつたね」と叔父夫婦が来られた。実弟、長男、孫が揃い、義父はどんなお気持ちだったのだろう。この男の孫は現在、コスマス会員となり学んでいる。

(岩本豊子)